

I. 教育

1. 湯浅農場

1) 農場実習

農学部農業生産科学科と応用生命化学科の「農場実習」（3年生，選択，2単位），バイオサイエンス学科の「バイオ実習」（3年生，選択，2単位）で，月曜から土曜日までの6日間，集中実習方式で実施している。

応用生命化学科とバイオサイエンス学科は夏季休暇中に実施し，農業生産科学科は夏季休暇期間を省く，5～12月までの期間に実施している。2012年の実施実績は第1表の通りである。

学習・教育目標および到達目標としては，附属農場での農作業を体験することにより，個々の作物の栽培技術を学ぶとともに，商品性を高める管理技術，安全で，効率的な作業方法や農作業に関する理念を学ぶ。さらに，農場での実習やセミナーハウスでの共同生活を通して，集団行動での責任感と協調性を養う。

実習日程としては，月曜日はオリエンテーション，農場の概要と栽培作物の栽培技術等の講義。火曜日～金曜日までは，午前9時より午後4時30分まで農作業を行う。土曜日は午前中までとし，基本的にセミナーハウスの清掃等を行うが，実習を入れることもある。この間に，農場で保存管理している柑橘系統・品種保存園等，農場内を見学する。

実習内容としては，ミカン，マンゴー，ウメ，水稻の栽培管理を中心として行い，他に，防風林のせん定や粉砕したせん定枝と生石農場からでる家畜糞を混合して，堆肥作りを体験する。また，梅干しとパック詰め，ミカンの収穫期には，ミカンの収穫，選別，箱詰め等の作業を体験する。また，トラクターの運転講習も適宜実施する。

成績評価方法および評価基準としては，実習での作業態度と責任感，セミナーハウスでの生活態度等，総合的に判断して評価する。

第1表 農場実習の実施状況

学科名	研究室名等	期 間	人数	主な作業内容
農業生産科学科	植物感染制御工学研究室	5月14～19日	11	マンゴー，ミカン管理
	育種工学研究室	9月10～15日	11	水稻育苗，ウメ収穫
	昆虫生態制御学研究室	11月12～17日	12	マンゴー管理，ミカン摘果
	作物資源生産学研究室	11月19～24日	9	ミカンの収穫，選果
	園芸植物学研究室	11月26～12月1日	11	ミカンの収穫，選果
	園芸植物学研究室	12月3～8日	15	ミカンの収穫，選果
	植物人間関係学研究室	12月10～15日	10	ミカンの収穫，選果
	農業政策学研究室	12月10～15日	7	ミカンの収穫，選果
バイオサイエンス 学科	1班	8月6～11日	23	マンゴー収穫，梅干し
	2班	8月13～18日	27	マンゴー管理・梅干し
	3班	8月20～25日	20	マンゴー管理，梅干し
応用生命化学科	1班	8月6～11日	7	マンゴー管理，梅干し
	2班	8月20～25	4	マンゴー管理，梅干し
	3班	9月3～8日	14	マンゴー管理・梅干し
合 計			179	

2) 学部教育

- | | | | |
|-------------|-----------------------|-----|------|
| ①農学部農業生産科学科 | 施設園芸学（3年前期，選択，2単位） | 担当 | 文室政彦 |
| ②農学部農業生産科学科 | 農学野外実験Ⅰ（1年生前期，必須，4単位） | 副担当 | 文室政彦 |
| | 農学野外実験Ⅱ（1年生後期，必須，4単位） | 副担当 | 文室政彦 |
| ③理工学部教職課程 | 園芸学（2年通年，必須，4単位） | 担当 | 文室政彦 |

2. 生石農場

生石農場では農場実習は行っていないが、主に生物理工学部学生に対して見学，体験学習または卒業研究の協力を随時受け入れており，家畜育種や繁殖学の実地研修の場として，重要な役割を果たしている。また，平成24年度も奈良育英中学校の夏期学習合宿（参加生徒数22名）に対応し，動物飼育について体験学習を実施した。さらに農場近郊の中学校（有田川町立八幡中学校）の職業体験学習の受け入れも行った。

1) 学部教育

- | | | | |
|---------------|--------------------|----|------|
| ①生物理工学部遺伝子工学科 | 発生工学Ⅱ（2年前期，選択，2単位） | 担当 | 岸 昌生 |
|---------------|--------------------|----|------|

2) 学外教育

北海道文教大学 管理栄養士国家試験対策「公衆衛生学特別講義」平成24年11月19～21日

担当 岸 昌生